第２回　牧川小学校 学校運営協議会　報告

令和５年１０月２５日（水）１０：３０～１２：００

１　会長あいさつ

本会の趣旨を理解し、熟議（話し合い）の時間を十分にとって実りある会にしていきたい。

２　協議事項

(1)　学校運営に関する中間報告について

①　１学期　学校評価アンケートの結果について

・児童、保護者、教員の三者それぞれの立場によって評価が違う。アンケート結果の平均値を出すだけでなく、気になる項目だけでももう少し細かな分析が必要なのではないか。

・問いを内容項目で分類すると、学習に関係する項目の平均値が低い。児童の値が高いにもかかわらず、保護者・教員の値が低いのは、期待が大きいからか。子どものがんばりを認めることも大切である。

②　全国学力学習状況調査の結果について

・課題が残る項目が、昨年度と変わりがない。急に付けられる力ではないが、方策を考えていかなければいけない。例えば、今までに習った漢字の定着には、漢字の成り立ちを伝えたり、文字に対する興味をもたせるきっかけを与えることが必要である。

・自分で計画を立てて勉強することは難しいが、自分で選択して学習させたり、時間で区切って学習させたり、「やってみたらできた」という成功体験を積ませたりすることが大切だ。また、家庭の教育力や、家族との時間の大切さが話題にあがった。

・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という児童が全国平均より低いのは、コロナ禍の影響も考えられるが、「計画を立てて勉強すること」についての数値が低いこととも併せて考えると学校評価の「自ら課題を持ってねばり強く学習に取り組む」に課題があることに繋がるのではないか。学習面だけでなく、様々な体験活動の中でも「自分で考えて行動してみる」機会を作っていく必要がある。

③　学校施設整備・修繕中間報告と令和６年度学校施設整備要望について

・トイレの洋式化の進捗状況はどうか。なるべく早い段階で洋式にしてほしい。

・環境整備や修繕等で、できることがあれば協力したい。また、技能をもっている人を紹介してもらう方法もある。

④　学校支援ボランティア活動中間報告

・新たな地域ボランティアを募り、体験活動や環境整備、読み聞かせ等を実施した。

・持久走大会や試走での立ち番の協力もお願いしたい。

(2)　意見交流「牧川小学校や児童への思い・ご意見・ご提案」

○　地域の人が集まる場について

・以前は運動会等で区長や牧川同窓会、ねんりんクラブなどが招待され、地域の人が集まることで、児童の様子を知る機会となったり、話し合いの場となったりした。

・学校としては、来ていただきたいという思いはあるが、運動会の在り方自体が問われている中、難しいこともある。

・集まる場があることに意義がある。学校側から、声かけをしてほしい。

○　朝学習について

・１時間目が始まる前の１５分を使った基礎学習の時間は、とてもよいと思うが、漢字計算だけでなく、短作文などで自分の考えをまとめるような学習があってもよいのではないか。それが、「ねばり強さ」や「自ら考える」ことに繋がるのではないか。

・漢字を練習することについて、教員が丸つけをしなくても、書くことで力が付く。

○　あいさつについて

・児童はあいさつをしているつもりでいるが、相手に届いていない。

・教室では、大きな声であいさつができることを考えると、地域の方との関係をつくっていくことで、もう少しできるようになるのではないか。

・一つの方法として、「あいさつ」をテーマに短作文を書くことで、あいさつの意義を考えることに繋がる。

・児童が進んで地域の人にあいさつをすることは、地域に見守ってもらう防犯に繋がるのではないか。

(3)　その他　　特になし

３　校長あいさつ

・　この場で話し合われたことを校内の教職員とも共有し、反映させていきたい。

・　地域の中で、学校や児童の事を考えて協力してくださる方を教えていただきたい。また、教育活動の中で、児童が地域に貢献していくことも大切であるので考えていきたい。

４　今後の予定　　・　第３回　令和６年３月５日（火）